

海況情報【内湾湾口観測結果】

愛知県水産試験場漁業生産研究所

令和6年10月4日

【観測結果（調査日：10月2、3日）】

10月2日に渥美外海、3日に伊勢湾の観測を実施しました。

【水平分布（調査点：P3～A10）】

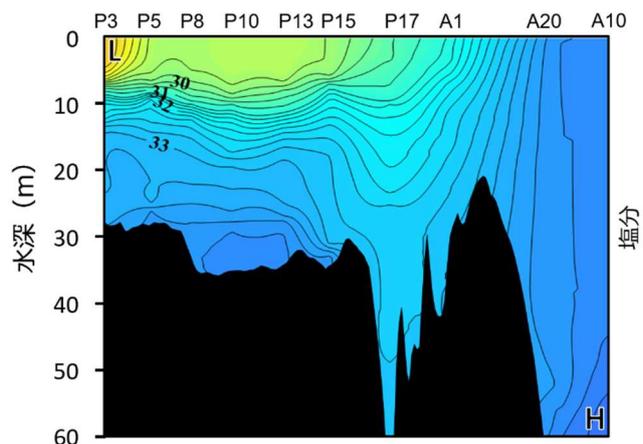
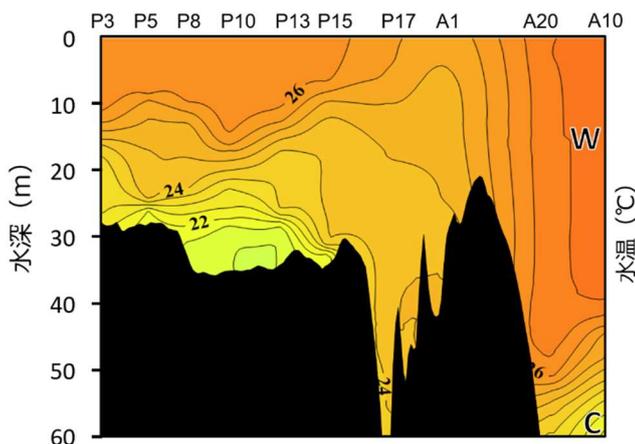
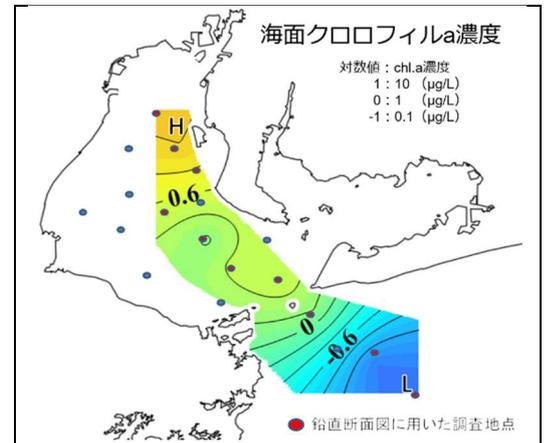
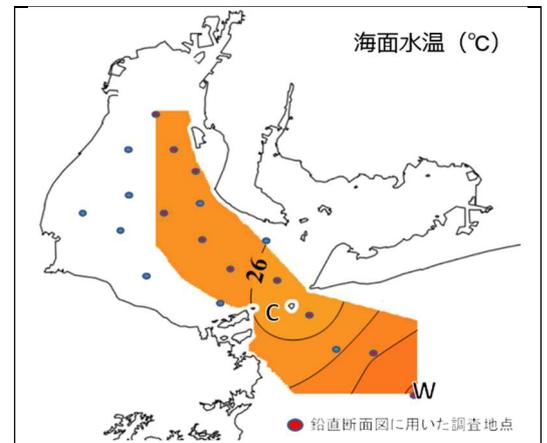
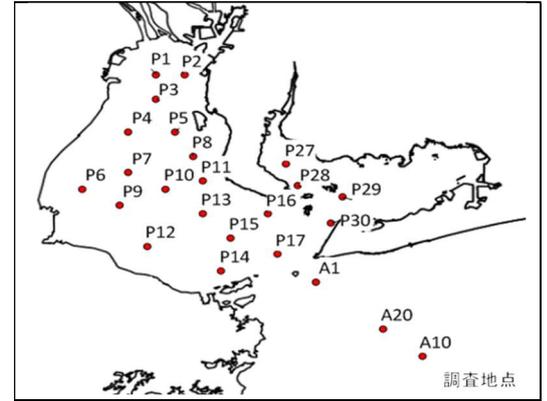
海面水温は、依然として高水温傾向ではあるものの、前月の観測結果と比べて最高水温は約 2℃低下しています。また、伊勢湾湾口部は、潮汐の影響で比較的低温となっています。

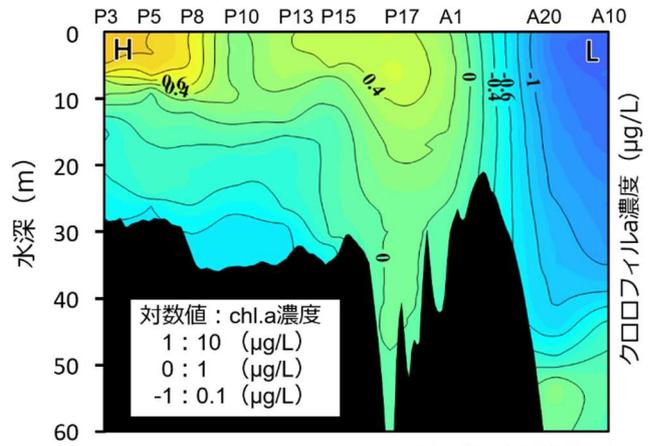
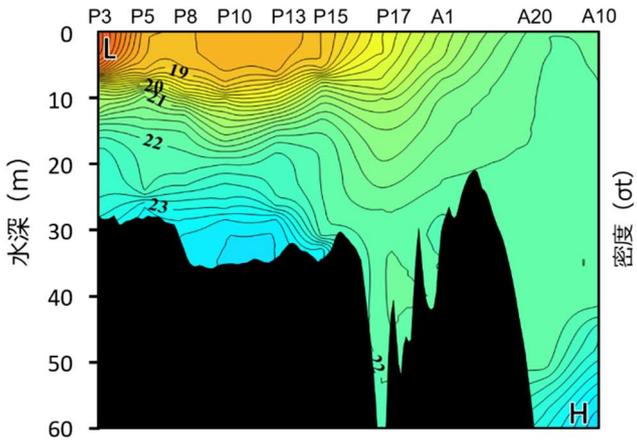
海面クロロフィル a 濃度は、伊勢湾の湾奥で高く、渥美外海で低くなっています。

【鉛直分布（調査点：P3～A10）】

伊勢湾の表層は、日射の影響は弱まりましたが、高水温かつ低塩分の軽い水が継続して分布しています。そのため、成層状態が維持され、湾奥～湾央（P3～P13）の水深 20m以深では酸素供給の乏しい状況が続いていると考えられます。

湾奥（P3）と湾央（P8～P10）付近では、9月下旬に外海水が進入した影響で、底層の貧酸素水塊（溶存酸素濃度 30%以下）が解消されています。しかし、10月上旬では外海水の進入がみられないため、今後も底層の水塊の攪乱が乏しい状況が続けば、貧酸素水塊が湾奥の底層を中心に再び発達すると考えられます。





※図中の値は常用対数値です

